

日進市における汚染井戸周辺地区調査結果について

日進市^{こめのきちょう}米野木町の井戸で鉛が環境基準を超過した件（2026 年 6 月 29 日公表）について、汚染井戸周辺地区調査を実施しました。

その結果、周辺に鉛の不適切な取扱いが確認された事業場は存在しなかったこと等から、原因の特定には至りませんでした。

県は、汚染の継続的なモニタリング調査を実施していきます。

1 調査結果の概要

鉛による地下水汚染の範囲を確認するため、県は汚染井戸から半径約 500 m の範囲内にある井戸の水質を調査しました。調査を行った井戸で環境基準に適合しており、周辺への地下水汚染の拡大は認められませんでした。

また、汚染原因について、同範囲内にある周辺事業場の調査を行ったところ、鉛の不適切な取扱いが確認された事業場はありませんでした。

周辺井戸の地下水質調査結果（鉛）

調査地点	調査結果 [mg/L]	環境基準 [mg/L]	用途	採水年月日
日進市米野木町	<0.005	0.01 以下	一般飲用	2026 年 6 月 30 日

2 周辺の井戸所有者に対する情報提供

周辺の井戸所有者に対して、日進市と連携して飲用しないよう注意喚起等を実施しました。

3 今後の対応

県は、汚染の継続的なモニタリング調査を実施していきます。

参考

○鉛による健康影響について

化合物によって毒性は異なりますが、高濃度の鉛による中毒の症状としては、食欲不振、貧血、尿量減少、腕や足の筋肉の虚弱などがあります。

体内に取り込まれた鉛は血中などに分布したあと、90%以上が骨に沈着します。主に尿に含まれて排泄されますが、体内の濃度が半分になるには約5年かかり、長く体内に残ります。

（出典：環境省水・大気環境局「土壤汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」）